

一人ひとりの力を引き出す題材と授業をどうつくっていくか

I 研究の内容

1 研究の柱

(1) 子どもの課題や実態にあった題材と授業づくり

- ・目の前の子どもの課題や実態をつかみ、ねらいを明確にして、より造形的な資質や能力が発揮できる題材の研究をすすめる。
- ・様々な場面で、子ども一人ひとりに表現する喜びを感じさせる。また、その表現を通し、子どもが自分や周りの人々、社会、自然や環境などを見つめ、子ども自身が主体となるような授業の組み立て方を工夫する。

(2) 子どもの表現活動によりそう支援のあり方

- ・子どもの思いによりそう支援のあり方を考える。
- ・子どもが何に悩み、考え、試行錯誤した末、どのような表現につながったのか、活動の様子の観察、子どもとの対話、スケッチや記録など、いろいろな方法で作品や活動を読み取る研究をする。

(3) つながりと広がり、先を見通した実践の積み重ね

- ・子ども同士が関わり合い、話し合うなど、互いに学び合うことのできる場の設定を実践する。
- ・題材と題材の関連や小・中学校の連携を考えたり、他教科との関連を図ったりすることで、子どもや学校の実態に応じた、系統的・発展的なカリキュラムの工夫をする。
- ・子どもの生活を取り巻く地域や社会、それに関わる人々とのつながりをもった美術教育を通し、自分自身や社会を見つめていけるようにする。

2 研究方法

- ・授業研究を実施し、授業の在り方を考える。(年1回)
- ・1人1実践による作品研究を行う。
- ・実技研修・学習会を実施し、授業に還元する。
- ・研究会場を持ち回り、各校の展示環境などを参考にする。

II 具体的研究内容

1 研究授業

- (1) 2月 小学校第4・5学年図画工作科 授業者 岩手小学校 三枝清美教諭  
題材名 「現れた線や形から」

発達の違いに合わせて、当初の授業案検討の時には削除したヒントの言葉を、4年生向けには復活させた2種類の板書を用意するなど、授業者の実態に合わせた的確な、かつきめ細やかな配慮が素晴らしい授業だった。

2 一人一実践報告

- (1) 塩山中学校 小澤朋子教諭 2年「陰影礼賛」  
光から発想を広げての作品づくり。材料に触れさせる中で発想させた授業。技術を教えるのではなく美を感じ取り表現するための力を育てる実践。
- (2) 塩山北小学校 古屋ゆか教諭 2年「ふしぎなたまご」「ひかりのプレゼント」「しんぶんしとなかよし」「にぎにぎねん土」「ざいりょうからひらめき」  
新型コロナ対策で思う存分制作活動ができない中、工夫を重ねて実践した授業であった。また、新しい指導要領の観点の評価と旧来の観点との比較をまとめたものを提案され、大変勉強になった。
- (3) 山梨南中学校 那須真奈美教諭 1年「楽しい創作文字をつくろう」  
どの生徒もスムーズに活動できるように、毎時間具体的な活動目標を提示することにより、生徒たちは自信をもって楽しく制作ができた。
- (4) 後屋敷小学校 安富智恵美教諭 1年「日常生活の楽しい場面」「色を見つけよう(広告ちぎり絵)」「色水であそぼう」  
子どもたちの色彩感覚を豊かにし、楽しく活動している様子がよくわかる実践であった。
- (5) 山梨北中学校 菊島美香教諭 「言葉をオブジェに」  
スタイロフォームを使用し、言葉から思い浮かぶ色や形、質感を自由に表現する授業であった。スタイロフォームの高い可塑性をうまく活かし、生徒たちの自由な発想を形に落とし込むことができていた。

### 3 学習会・実技研修

学習会「新指導要領における評価の実際」 講師 山梨大学 新野 貴則先生

## III 成果と課題

### 1 成果

新型コロナ感染症の影響により、時数が減り、思うような授業ができない中、一人一実践の作品研究や山梨大学の新野貴則先生による3観点の評価についての学習会など、実践研究と理論研究の両方をしっかりと行えた。また、会場を持ち回りで行うことにより、作品研究だけでなく、ほかの作品や材料など、教室環境を実際に見ることで学びあうことができた。統一授業研も実施でき、子どもたちの制作に向かう姿や作品の変化、試行錯誤している様子やつぶやきなどを見聞きできたことも大きな成果である。

### 2 課題

継続して中身の濃い研究をしていきたいが、人数が少なくメンバーが固定されていることが課題である。また、新学習指導要領の評価ともかかわって、「一人一人の力を引き出す…」の「力」をどのようにとらえるかを改めて明確にしていく必要がある。個に内在する力を引き出し、学習により高め、深め、生きる力として戻してゆく図工・美術の授業をイメージし、その「力」は具体的にどんな児童・生徒の姿なのかを整理していきたい。

(部長 小澤 朋子)